

令和6年度決算の概要

1. 総括

地方財政を取り巻く環境は、急速な少子高齢化を背景とした生産年齢人口の減少と社会保障費が増加していく状況において、公共施設等の老朽化対策や頻発・激甚化する自然災害への備え、さらには地域社会のデジタル化による利便性の向上など、様々な課題に対する取組が必要であり、依然として厳しい状況にある。

このような状況の中、本市においては、市制施行70周年という節目の年に当たるとともに、第6次総合計画及び第2期まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の4年目として計画に掲げた事業を推進し、「活力ある暮らしやすいまち」を形成するため様々な施策を実施した。

この結果、歳出決算額は一般会計32,540,845千円、国民健康保険特別会計7,358,019千円、介護保険特別会計6,752,324千円、後期高齢者医療特別会計1,261,313千円となった。

なお、本年度における施策の主要項目を列挙すると、次のとおりである。

(1) 主な新規事業

ア スマート窓口導入事業

全ての市民にとって簡単・便利・親切な窓口サービスを提供するため、「書かない窓口」導入と庁舎1階の窓口レイアウトの改修等を実施した。

イ 認定こども園化事業

南こども園整備工事を実施した。

ウ 茂林寺前駅西口整備事業

駅利用者の利便性の向上のため、茂林寺前駅西側区域市道整備、茂林寺前駅自由通路改修工事設計及び公衆トイレ新築工事設計を実施した。

エ 市街地推進事業

太陽の園改修工事を実施した。

オ 公園競技施設管理運営

ダノン城沼アリーナ空調設備等改修工事及び南側外壁改修工事を実施した。

カ 小学校施設整備事業

第三小学校及び美園小学校のトイレ改修工事を実施した。

(2) 主な継続事業

ア 日本遺産推進事業

館林市「日本遺産」推進協議会が実施する地域活性化事業に対する支援を行った。

イ ほ場整備事業

ほ場整備による農地の大区画化、担い手への集積・集約化を図るため、野辺地区において農地区画整理工事を実施し、大島地区において調査計画業務を実施した。

ウ デジタル地域通貨発行事業

新しい生活様式に対応したデジタル地域通貨を運用し、地域経済の活性化を図るとともに、プレミアムキャンペーンを実施し市内の消費促進及び事業者支援を行った。

エ 産業団地造成事業

産業団地の造成を進めるため、調査設計や付帯工事を実施した。

オ 中央通り線道路改良事業

平成28年度から令和11年度までの14か年継続事業として群馬県が整備を進めており、本年度は用地636.66㎡の取得と10件の補償を実施した。

カ 土地区画整理事業

・西部第一南地区

昭和61年度から令和15年度までの48か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路築造工事58.8m、1戸1棟の建物移転等を実施した。

・西部第一中地区

平成元年度から令和9年度までの39か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事66.7mを実施した。

・西部第二地区

平成11年度から令和14年度までの34か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事453.6m、5戸7棟の建物移転等を実施した。